

知的財産戦略の研究

内藤 浩樹 (ないとう ひろき)
知的財産研究科 知的財産専攻 教授



用途・応用分野：産学連携、知的財産コンサルティング、
国際的な知的財産人材の育成

■ 研究概要

本研究では、国際的なイノベーションを巻き起こすために必須となる企業の知的財産の実態について、IoTを利用したビジネスにおけるデータの取り扱い、ノウハウ等の営業秘密の保護から、特許、商標、意匠、著作権の取得・活用まで幅広く、企業の知的財産に関する調査分析を行うことにより、グローバルな企業競争力を確保するための企業の知的財産戦略の考え方、その戦略に基づく、目指すべき知的財産活動の提言を行っています。

その研究成果は、企業の経営コンサルティング、政府機関の支援、国際的な知的財産教育などに活用されています。

2017-2018年度実績：パナソニック 株式会社カウンセル、JAXA 研究戦略部参与としてのアドバイス、JICAと連携した海外研究生の研究支援、国連機関であるWIPO主催の国際会議への参画、国際的な知的財産教育の支援、中小企業に向けた知的財産コンサルティングなど。

■ 研究の特徴

- ① グローバルな知的財産制度・運用の研究
- ② 国際的なビジネスへの知的財産の活用施策の研究
- ③ 最先端技術の知的財産保護の研究

